

八月「白玉」

白玉のお肌は

真珠と呼ばれた

こともありました



衝動的に買ってしまふ粉もんがほつたらかしくなっていますか？白玉粉（もち米とうるち米をまぜて引いたもの）と小豆缶もそのひとつ。冷やしてさつぱりの白玉で夏満喫！

白玉をつくってわたしの男に持っていく／砂糖を煮て蜜をつくり／茹でた白玉を漬けて／ひやす／密閉して／持つていく／白玉はいれものの底にべつとりと付着する／白玉のへりが剥がれて／まるい／かたが歪む／さじですくう／ア／ホラ

（伊藤比呂美「歪ませないように」より）

## 白玉のゆであずきかけ

-レシピ-

- ①白玉粉100gに水90mlを少しずつ加え、耳たぶの柔らかさにこねる。
- ②丸めて沸騰した湯に入れ茹でる。浮きあがって3分、冷水にとり水気をきる。
- ③あずき（缶）をかける。



目の前で恋人が白玉をのみくだすのを見てみたい。甘く冷たい蜜の味。どう、美味しいでしょう、美味しいよ、と言わせてみたい。若い日に、こうした経験などなかったので、この詩には嫉妬してしまいました。いまならスイーツ男子が増殖中なので、フルーツ大福（母が一番人気とか）を作ってきてよ、食べさせてよ、でしょうか？

わが家は家人がお酒を飲まないのです、簡単（手のこんだものは苦手）な手作りのスイーツを作ります。  
詩人・寺田操